

## ③岩崎川事業間連携砂防工事

受賞機関 香川県 中讃土木事務所

**キーワード** 道路との事業間連携、警戒避難体制が強化、丁寧な情報発信

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

二股渓流での砂防堰堤の整備。2 渓流の合流点に施設を整備してコスト縮減に努めるとともに住民対象の現地説明など情報発信を強化した点や、平成30年以降引き上げられていた現地の警戒避難レベルも通常に戻るなどの効果が発現している点が評価された。

### 1. はじめに

岩崎川は、香川県善通寺市大麻町の丘陵に源を發し、二級河川金倉川に流れ込む渓流であり、土砂災害警戒区域内の保全対象としては人家68戸のほか、県道、JR土讃線などがある。土砂災害が発生すれば下流に甚大な被害が及ぶことから砂防堰堤で対策を実施することとなり、平成27年度から事業着手した。詳細設計を経て平成30年7月から工事着手し、令和5年8月に流路工を含む全工事が完了した。



被災状況

### 2. 事業の概要

岩崎川砂防堰堤は堰延長164.5m、堰提高8.0m、堰体積9,470m<sup>3</sup>の重力式コンクリートダムである。

本渓流は計画基準点上流で二股に分かれており、両渓流を跨いで堰堤を設置する1基案と、各渓流に1基ずつ堰堤を設置する2基案について比較検討を行い、経済性や施工期間を考慮した結果、1基案を採用した。

平成30年7月の豪雨により土石流が発生し、がけ崩れの被害をうけるおそれのある人家（保全人家）近くまで土砂が流出する被害が発生した。早急な対策が望まれる中、道路との事業間連携砂防事業や国土強靱化予算等を活用することで整備促進を図り、工事着手から約5年で砂防堰堤を完成することができた。

### 3. 事業の成果

砂防堰堤により、安全が確保されることはもとより、土石流の発生を受けて、警戒避難体制が強化され避難情報発令基準が繰り上げられていたが、砂防堰堤が完成したことで土石流に対する安全性の向上が認められ、警戒避難体制の強化が解除された。



航空写真



岩崎川砂防堰堤

### 4. おわりに

本事業は土石流が発生したことで住民の不安が大きくなる中、着工したこともあり、事業の進捗状況を善通寺市のHPで掲載するとともに、地元住民に対して現地説明会を実施するなど可能な限り丁寧な情報発信に努めたが、このような取組は他事業でも有効であり、今後も住民目線に立った丁寧な対応を心掛けるようにしたい。